

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	篠山市立 味間小学校 職・氏名 教諭 方山 直人	研究チーム名 ( 味間小家庭科教育研究グループ )
-----------------	-----------------------------	------------------------------

研究テーマ分類番号 ( 1 )

(1)研究テーマ
言語活動を充実し、家庭生活を豊かにする能力をはぐくむ家庭教育 ～ことばでつなく、わたし・あなた・家族～
(2)研究経過及び具体的な取組
<p><b>1 . 6月10日(木) 「家庭科授業における言語活動の充実について(事前研究)」</b>            実施場所 味間小学校 ミーティングルーム 人数 高学年団(4名)            成果と課題            家庭科学習指導要領にある「B 日常の生活と調理の基礎」の領域における言語活動の充実について話し合う。学習活動計画を「見つめよう」「計画・活動しよう」「生活に生かそう」の3段階の活動を設定し、主に「見つめよう」「計画」「生活に生かそう」の活動において言語活動を指導案上に明記し位置づけた。主な言語活動としては、「気づいたことを発表する」「グループで話し合う」「意見をまとめ、表にまとめる」「体験したことをまとめ、発表し合う」等の言語活動を設定し授業研究において取り組む計画を立てた。それぞれの言語活動において、どのような評価をするかということや限られた時間の中で時間の確保をどのように保証するかということが課題にあげられた。</p> <p><b>2 . 6月17日(木) 「家庭科授業研究会・事後研修会」</b>            実施場所 味間小5年生教室 人数 8名            講師 兵庫教育大学大学院 学校教育研究学科 准教授            単元名 「料理って楽しいね!おいしいね!」            成果と課題            家庭科における言語活動について、講師を招き授業研究をもとに研修を行った。「家庭の言葉を学習すること」と「家庭科で言語力を育成すること」を区別して研究を進めていかなければならないことを示唆していただいた。後者を中心にするのが本研究のテーマに沿った内容なることを確認することができた。今後は、言語活動を整理しそれぞれのルーブリックの作成をしていかなければならないことを話し合った。</p> <p><b>3 . 7月初旬 「家庭科における実態調査アンケートの内容検討と実施」</b>            家庭科の4領域におけるアンケートを実施した。1年生から4年生までの家庭科履修前の実態と5年生から6年生の履修中の学年の実態調査を行った。今後は、アンケートを集約し、実態把握し、経過観察をしていく予定である。</p> <p><b>4 . 10月20日 家庭科公開研究授業</b>            実施場所 味間小 6年生教室 家庭科室            成果と課題            言語活動を充実させた家庭科学習の在り方について、1学期から夏季休業中にかけての学校、家庭での取組の成果を掲示物や授業で発表することができた。言語活動を通して、家庭科の学習を深める学習スタイルを一步進めることができた。</p>